

世界に翔く宮崎牛

1996年10月号

No.15



◦ 盛大に開催された第48回畜産共進会（左上）
 ◦ 肉用種種牛の部でグランドチャンピオンに輝いた「しげこ」と生産者の杉元豊人さん（左下）

◦ 大人にも人気のあった乗馬コーナー（右上）
 ◦ 肉用種種牛の部の審査風景（右下）

10月号目次

畜産情勢	2
特別レポート（技術情報）	4
今月の飼育管理ポイント	5
おたずねします	6
トピックス	6
畜産情報	
(1) 現地情報	8
(2) 肉用牛産肉能力検定情報	9
一服放談	9

参考資料	10
需給動向	
(肉用子牛価格の推移)	10
(品種別規格別牛枝肉卸売価格の推移)	11
肉用子牛生産者補給金制度	11
子牛生産拡大奨励事業	12
消費地情報	12
今後の行事計画	14
肉用子牛価格情勢	15
品種別規格別牛枝肉卸売価格情勢	15
共進会風景	16

畜産情勢

「低コスト事例紹介」

国際競争が一段と強まっている現在、より一層の生産コスト低減の努力が必要となっています。しかしながら、家族経営による肉用牛生産形態では、コスト概念にもとづく生産者意識は、めばえにくいものになっていると言われています。

そこで、コストに対する意識の高い肉用牛繁殖農家の事例について紹介します。

1. 経営の概要

農業従事者 2 名（経営主、奥さん）
 経営地面積 田330 a 転換田40 a 畑85 a
 河川敷利用200 a（3 戸共同）
 農家所得 800万円以上（家畜部門50%以上）
 稲作との複合経営
 飼養頭数 繁殖雌牛 3 7 頭（常時）
 分娩子牛 3 3 頭
 販売保留 3 4 頭

※調査期間 平成 6 年 7 月～平成 7 年 6 月

2. 経営分析（成雌牛 1 頭当たり）単位：円

項 目	金 額	備 考
購入資料費	52,000	
自給飼料費	21,000	
減価償却費	38,000	
生産費用合計	205,000	（家族労働費含む）
肉用牛収益	313,000	（堆肥交換含む）
経常利益	99,000	
経常所得	133,000	（所得率42.5%）

※販売保留子牛当り生産費用 227,000

3. 技術分析

項 目	実 績	指 標
平均分娩間隔	12ヶ月	12.5
受胎に要した種付回数	1. 6回	1.5
雌子牛販売価格(市場比)	120%	
日齢体重	0.92	0.9
去勢子牛販売価格(市場比)	98%	
日齢体重	1.00	1.0
成雌牛1頭当年間労働時間	51.2	90
所得率	42.5%	40%以上

4. 低コストのポイント

- ・年一産が確実に守られている。
- ・自給飼料の生産、河川敷の有効利用、堆肥と稲ワラの交換により良質粗飼料の確保が図られている。

- ・イタリアン乾燥14.3t トウモロコシ、ソルゴーサイレージ129t（いずれも調整量）
- ・牛舎は、廃材・間伐材等の利用により自家施行されている。減価償却費46千円/年
- ・機械器具は長期使用出来るよう適正な保守管理を行っている。減価償却費188千円/年
- ・無理な投資、無理な贈頭を行っていない。
- ・自己資本率100%である。
- ・労働面、経営面からもゆとりある経営をされている。

コストに対する意識が非常に強く、経営主と話をすると何時も、「うちの生産費はよそと比べるとどうか?」と言う質問をされ、なかでも、労働もコストであるとの認識から作業の効率化に努められています。

宮崎県酪農・肉用牛生産近代化計画が策定される

先般、県の「酪農・肉用牛生産近代化計画」が策定されました。この計画は、ウルグァイ・ラウンド農業合意に伴う乳製品の関税化、牛肉の関税率の引下げ等、畜産を取り巻く情勢が変化するなかで、今年 1 月に 21 世紀を視野に置いた国の「酪農及び肉用牛生産の近代化を図るための基本方針」が公表されたのを受けて、昭和 63 年度に策定した前計画が改正されたものです。以下その概要を紹介します。

(1) 目標年度

平成 17 年度を目標としています。

(2) 近代化に関する方針

本計画では、酪農・肉用牛生産の近代化のための全般的な方針として、

- ・ 企業の先進経営体の育成
- ・ ゆとりある畜産経営の確立
- ・ 畜産環境保全対策に配慮した経営体の育成
- ・ 生産コストの低減（2～3割低減）
- ・ 女性や高齢者の能力発揮のための条件整備
- ・ 中山間地域の活性化

を図ることとしており、特に、肉用牛生産については、

- ・ 太り易く、飼い易く、肉質の良い宮崎牛の生産
- ・ 地域・経営内一貫生産の推進
- ・ 受精卵移植技術活用等による優良種雄牛の造成
- ・ 若い中核的モデル農家の育成
- ・ 一年一産を目標とした子牛生産率の向上
- ・ 肥育期間の短縮など、効率的な肥育技術の普及・定着、肉質の斉一性の向上

によって、その振興を図ることとされています。

(3) 計画目標

平成17年度における肉用牛の飼養頭数、飼料自給率の目標は以下の通りです。

	現状（平成5年度）		目標（平成17年度）
・ 飼養頭数	246,700頭	→	380,000頭
・ 1戸当たり飼養頭数	12.6頭	→	22.6頭
・ 飼料自給率	51.1%	→	56.0%

(4) 近代的な経営方式の指標

平成17年度に生産の大宗を担う近代的な経営体として、以下の指標が示されています。

	所得目標
（繁殖経営）	
繁殖雌牛10頭の複合経営	1,174千円
30頭の複合経営	3,647千円
50頭の複合経営	7,499千円
80頭の専業経営	11,793千円
（一貫経営）	
繁殖雌牛50頭の一貫経営	11,930千円
（肥育経営）	
肉専用種肥育牛 30頭の複合経営	1,359千円
100頭の複合経営	5,375千円
200頭の専業経営	11,726千円
乳用種肥育牛 300頭の専業経営	7,182千円

(5) 肉用牛生産振興のためのその他の施策方針

本県の肉用牛生産の振興を図るために、以下のような方針に沿って施策を展開していくとされています。

- ア 肉用牛及び牛肉流通の合理化

- ・家畜市場の再編整備と機能の高度化
 - ・食肉処理施設の再編整備
 - ・衛生的で合理的な食肉供給のための施設整備
 - ・「宮崎牛」ブランドの確立
- イ 家畜衛生及び畜産物の安全性の確保
- ・疫学的診断、伝染病疫病の発生予察、早期診断法の確立
 - ・地域及び県境を越えた家畜防疫体制の確立
 - ・家畜の生産性の向上と損耗防止
 - ・検査監視体制（生産から最終流通製品まで）の整備
 - ・HACCP方式に基づく生産衛生管理体制の整備
 - ・動物医療品等の適性使用の推進
- ウ 家畜ふん尿の処理
- ・良質堆きゅう肥の地域及び広域的な販売・利用体制の確立
 - ・処理施設の機能向上、経営移転・団地化等による合理的な施設整備の推進
 - ・地域内の家庭生ゴミ等との混合処理によるリサイクルシステムの確立

◎ 特別レポート

宮崎県における受精卵移植技術の現況について

宮崎県では県優良家畜受精卵総合センターを創設し、県内の農家に向けて受精卵の供給を平成 2 年度開始しました。いままでに（平成 7 年度末現在）3,580 個の受精卵を供給し、受胎率 49.6% で 1,217 頭の受精卵による産子が誕生しています。

この間にも、受精卵移植技術は新たな技術開発が着実に進行しています。なかでも、平成 7 年度から県優良家畜受精卵総合センターにて実用化した、宮崎シンプル法による簡易移植法は、従来の移植法に比べ非常に簡便となりました。従来の方法では凍結保存した受精卵を移植するには、いったん受精卵をストローの中から取りだして、凍結保護物質であるグリセリンを除去し、再度ストローに詰め直すという煩雑な作業が必要でした。宮崎シンプル法では、この作業が全く不要となり、融解したストローをそのまま移植器に装着し移植することが出来るようになりました。

この結果、受精卵の供給希望者が増加し平

成 7 年度は、移植頭数が前年度の 620 頭に比べ 735 頭と増加し、受胎率も 51.3% から 53.8% と上昇しました。

このほか開発中の新技術として、受精卵の性別判別技術があります。これは、雌雄の判別を受精卵の段階で判定するもので、実用化されれば望む性の子牛を自由に得ることが出来るようになります。平成 7 年 7 月には雌と判定した乳牛の受精卵から、雌子牛の出産に成功しています。近い将来には、実用化も可能になることでしょう。

また、畜産試験場で取り組んでいる核移植技術では、現在までに双子のクローン牛（全く同じ遺伝子を持つ個体）の作出に成功しています。この技術が確立すれば、種雄牛造成等の改良あるいは、肉用牛の増産に大いに役立つものと期待されています。

このほかにも、試験研究中の新技術がいくつかありますが、またの機会にご紹介したいと思います。

今月の飼養管理ポイント

血液検査について

黒毛和種肥育牛に一般的に給与されている飼料は乳牛と異なり、繊維以外の炭水化物（でん粉など）の乾物中含量が、繊維やルーメン内分解性タンパク質より多いためルーメン発酵の恒常性は失われやすく、特に、肥育後期は大麦が増えますので肝臓も痛みやすくなっています。よって、良好な増体と肉質を得るためには普段の観察が重要であることは言うまでもありません。牛の健康状態及び肥育状態は、普段の牛の観察である程度は判断できますが、判断の補助的手段として、飼料計算、超音波機器による肉質診断及び血液検査もあります。今回は、肥育牛における血液検査の意義について概説します。

血液検査は、あくまで補助手段であり、臨床症状、素牛の血統、給与飼料の内容及びバランスとあわせて総合的に判断する必要があります。採血時間、採血部位及び採血時の牛の状態によって変動する項目がありますので注意が必要です。

LDH、GOT及び γ -GTPという酵素で肝臓障害の有無が判断できます。ただし、LDH及びGOTは、骨格筋や心筋の傷害でも上がりますので、骨格筋や心筋の傷害に特異的なCPK酵素を組み合わせればより確実な診断ができます。採血時に牛が暴れたりしますと、骨格筋が痛み、LDH及びGOT上昇したりしますので、CPK酵素を同時に調べれば、肝臓と骨格筋の傷害を鑑別できます。

アルブミン（Ald）、総コレステロール（T-cho）、中性脂肪（TG）及びグルコース（Glu）で肝臓機能が判断できます。しかし、

Aldは長期的なタンパク質摂取不足でも減り、T-cho、TG及びGluは飼料摂取不足でも減りますので、尿素態窒素（BUN；タンパク質及び飼料摂取量の指標）及びマグネシウム（Mg；飼料摂取量を反映する）を同時に調べて、飼料摂取量及び臨床症状とあわせて総合的に判断する必要があります。

TG、T-cho及びBUNで飼料摂取、栄養及び飼育状態が判断できます。肥育状態の良好な牛は、Mgが高いという報告もあります。遊離脂肪酸（NEFA）も栄養状態の指標として汎用されていますが、これは、ストレスに鋭敏に反応しますし、採血後の血液の処理に影響を受けやすいですので、他の項目や観察とあわせて総合的に判断する必要があります。

カルシウム（Ca）、無機リン（IP）及びMg測定で去勢牛の尿石症の予防ができます。尿石症の原因及び誘因には、ルーメン発酵異常に起因するビタミンD₃（Caの吸収や動員に関与）活性化の阻害と尿の酸性化、CaとIPの不均衡、高IP高Mg血症及びビタミンA欠乏に起因する尿道粘膜の傷害がありますので、血液検査に加えて、飼料内容及びバランスを検討する必要があります。この他に、肉質や増体に影響を与えるビタミンAや肉色や枝肉の品質保持に重要なビタミンEの測定は、観察、臨床症状及び飼料計算による判断を確実なものにするための補助手段になります。特にビタミンAの肉生産に与える影響は大きいだけに血液検査によるモニタリングは有用です。

● おたずねします ●

狂牛病はどのような病気ですか。また、日本での発生の心配はないですか。

狂牛病（牛海綿状脳症）は、神経症状を主徴とする反芻動物の疾病で、1986年に英国で初めて確認され、これまで英国などヨーロッパを中心として約15万頭の発生が報告されていますが、日本ではこれまで発生していません。

感染の原因は、加熱処理が不十分な反芻動物、骨粉等を餌に使用したこととされており、英国以外の国では、英国からの輸入

牛または加熱処理不十分な動物性飼料が主な原因と考えられています。

日本では、英国本島からの牛肉、牛臓器については、1951年以来輸入が禁止されており、また、生きた牛についても、1990年以来輸入が禁止されており、牛肉加工品等についても、3月27日より輸入が禁止されていますので心配ありません。

トピックス

受精卵の核移植によるクローン牛の誕生

宮崎県高原町の県畜産試験場は、平成4年度から取り組んでいた受精卵の核移植によるクローン牛の作出に成功し、このたび2頭が誕生した。九州においては鹿児島県について3例目である。それは、優れた遺伝子を持つ1つの受精卵から、複数の核移植卵ができ、いくつもの優れた個体の生産につながるため、実用化に向けての期待は大きい。

核移植の方法は、16から32細胞期に成長した受精卵の卵細胞を分離し、その1個1個の細胞を除核した成熟卵子と融合させて核移植卵をつくり、その後、1週間かけてこの核移

植卵の培養を行い、移植する。成熟卵子については、予め解体された雌牛の卵巣内の未成熟卵子を培養、成熟させて除核しておく。

今回はこのようにしてつくられた5個の核移植卵のうち、2個を昨年10月11日に同町内の2戸の酪農家の乳牛にそれぞれ移植した結果、今年の7月15日と20日に25.5kg、35.0kgの雌牛が生まれた。

今後は、核移植卵を安定的に作出するための試験研究に取り組みたいとのことで、当面は3頭以上のクローン牛の作出が目標となる。

ほ乳期仔牛育成用配合飼料“ひとりだちえづけ用”開発

J A 宮崎経済連は今年6月からほ乳期仔牛飼料“ひとりだちえづけ用”の供給を始めました。

この飼料の特徴は

①粗飼料、濃厚飼料、ビタミン・ミネラル類を、仔牛発育の生理に合わせてバランスよく配合した飼料です。

②雌雄区別なく、生後2週令より自由採食

で給与します。

③母牛の乳量が低い場合にも養分補給が十分です。

④良質乾草が入手できない場合は有利です。

⑤ひとりだち育成用にスムーズに切換えができます。

給与例をひとりだちと合わせた体系で下表に示しました。



給与例 (単位: kg/日・頭、3ヶ月離乳の場合)

月齢	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
日齢	0	30	60	90	120	150	180	210	240	270	300
体重♀ (kg)	25	50	75	100	125	150	175	200	226	252	279
体重♂ (kg)	30	55	80	105	132	160	187	215	245	275	305

ひとりだちえつけ用	2週齢より	自由採食	-	-	-	-	-	-	-	
ひとりだち	-	-	少々(慣らし)	2.0	2.3	2.6	2.9	3.2	3.5	3.8
乾草	-	-	0.3~0.9	1.5~2.1	1.5~2.3	2.0~2.9	2.0~3.1	2.5~3.3	3.0~3.9	3.0~4.1

※乾草は不断給与を原則とし、上段♀、下段♂の目安量を示しました。
 ※飼料給与量は常に発育状態を把握し、増減する。
 ※群飼の場合は、5~10%増量する。

「上福」号間接検定で脂肪交雑の記録を更新～脂肪交雑3.5～本県トップ

種雄牛名	上 福	生年月日	H4.3.28	登録番号	黒原2648	得点	82.0
産 地	兵庫県美方郡		直検成績		-		
血	谷福土井	安谷土井	安美土井	黒育 48			
		黒育 85	いつひめ	黒高 42150			
	黒高 950	きくつる	菊美土井	黒育5			
		黒高 29920	しょうふく3	黒 369679			
統	ゆきひめ6	菊照土井	菊則土井	黒育 32			
		黒育 100	とくかね	黒高 20988			
	黒高 131473	おおみぞ	安美土井	黒育 48			
		黒育 11145	みつふく	黒育 1447			

間接検定成績 ()内は平成7年度全国平均

終了時体重.....615.8 (577.6) kg 皮下脂肪厚.....1.9 (1.8) cm 脂肪交雑 (MBS)3.5 (2.2)
 1日当たり体重量...0.93 (0.87) kg 枝肉重量.....368 (341)kg 格 付.....A-5 (8頭)
 推定歩留.....73.6 (73.5) % ロース芯面積.....48 (46) cm²



さる3月21日に実施された間接検定で、「上福」号が脂肪交雑3.5と本県最高の成績を収めました。

本牛は兵庫県から本県に導入されたもので、父は「安谷土井」号の後継牛として活躍中「谷福土井」号、また母は、肉質で定評のある「菊照土井」号の娘牛「ゆきひめ6」号です。

間接検定は平成7年3月から平成8年3月までの1年間にわたって行われました。期間中の発育と増体は、兵庫系としては大変良好

なものでした。

枝肉調査の結果、枝肉重量、ロース芯面積とも、全国平均を上回っており、肉質面においても、脂肪交雑3.5と大変優秀な能力が見られました。

現在、現場でも産子が肥育されており、近いうちに、枝肉出荷されて、本牛の産肉能力の優秀さが確認されるものと思われます。

今後は、純兵庫系の種雄牛として、幅広い交配が可能であり、本県の和牛の改良に大きく貢献するものと期待されます。

第82回宮崎銘柄牛枝肉共進会（名古屋の部）開催

—黒木学氏の枝肉がグランドチャンピオン—

第82回宮崎銘柄牛枝肉共進会（名古屋の部）が7月29日盛大に開催されました。

県内各地より選ばれた去勢67頭、雌19頭が出品されました。全体に肉質は良好で、4等

級以上83.7%、5等級51%でした。グランドチャンピオンはJA尾鈴の黒木学氏の出品牛枝肉が受賞されました。

	農協	生産者	性別	血統			生年月日	枝肉重量	ロース芯	サシ	単価	販売額
				父	母の父	祖母の父						
最優秀賞	尾鈴	黒木 学	去	安平	隆桜	糸弘2	6.3.20	431.6	61	11	4,000	1,726,400
優秀賞	児湯	守部隆浩	牝	安平	第5永持	山本	6.2.9	387.5	68	11	3,000	1,162,500
〃	国富	三角 昇	去	隆桜	菊安	北福	6.1.12	407.3	63	12	3,000	1,221,900
〃	宮崎	尾崎畜産	去	安平	隆桜	福茂	6.1.5	494.1	64	11	3,000	1,482,300
平均	—	—	—	—	—	—	—	435.0	57	8	1,923	836,603

○ 現地情報 ○

南那珂に肉用牛拠点施設が完成・ブランド確立に向けてスタート

串間市大平に、南那珂地域を対象とした肉用牛中核施設が完成しました。

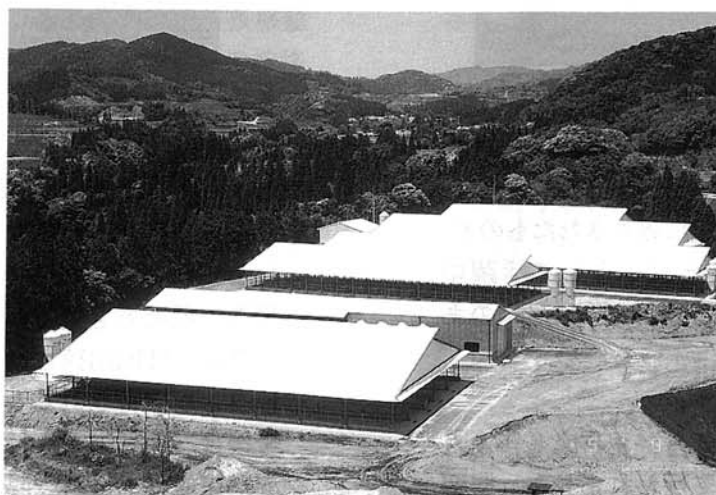
同施設は、1.5haの敷地に500頭が収容出来る肥育牛舎5棟と飼料・堆肥・オガコ舎1棟、格納庫1棟、管理棟1棟等を総額182,137千円かけ、畜産再編総合対策事業（国）により整備されました。

国際化や消費者ニーズの多様化等肉用牛を取り巻く環境の変化に合せ、生産から肥育・

出荷までの地域一貫生産体制の強化と併せて生産コスト軽減を基本とした肉用牛生産の拡大と改良の充実等が狙い。

肉用牛農家の意欲向上、地域肉用牛の発展の拠点施設として、今後、南那珂肉用牛のブランド確立に役立つものと、大きな期待がよせられています。

事業主体……南那珂郡市畜産農業協同組合連合会



○ 肉用牛産肉能力検定情報 ○

直接検定終了時成績

平成 7 年度第 3 回目の直接検定終了時選抜が行われ、3 頭の受検牛の中から、「糸糸桜」号が種雄牛候補として保留されました。

本牛は、父が「糸弘 2」号、母の父が「糸光」号、母方祖父が「第 7 糸桜」号であり、血統的には「糸桜系」でかためられたものです。今後さらに 4 カ月程育成をしてから、再度選抜を受けることになっています。

育成牛成績

直接検定終了後 16 カ月令まで育成されていた種雄牛候補牛の中から、今回、「幸茂福」号が間接検定受検牛として選抜されました。

本牛は宮崎市の長尾政文さんの生産によるものです。間接検定のための試験交配は平成 8 年度に予定されております。

直接検定終了時成績

名号	血統		産地	体重	体高	D・G	365日令 補正体重	体型 得点	備考
	父	母の父							
糸糸桜	糸弘 2	糸光	山田町	418kg	125.2cm	1.17kg	426.2kg	81.0	保留

育成牛成績

名号	血統		産地	体重	体高	D・G	365日令 補正体重	体型 得点	備考
	父	母の父							
幸茂福	第 20 平茂	福茂	宮崎市	476kg	130.2cm	1.20kg	434.4kg	82.2	合格



オシッコ雑学

排尿のタイプは動物の種類によって多種多様であるが、これを具（つぶさに）に観察すると同じ動物でも性別や状況（繁殖期など）によってその趣もまた異なるものである。

さてここでは、我々に最も身近な世の男性諸君の放出時の動態を観察してみよう。

先づ放出前までの動作は各人ほとんど同じだが放出後において個人差があるようだ。

ホースを指で軽く支えたままブルブルと身震いするもの、指で挟んだホースを上下に振って雫（しずく）を切るもの、指で挟ん

ムスコが目を回すほどの早さで円を描くもの、膝（ひざ）の関節をやや曲げて反動をとって揺するもの等さまざまである。

また、例外としては、酒に酔っぱらってムスコを掌（てのひら）に乗せ大声でムスコに語りかけている御仁もいられたようだ……ウームおまえも大分シワの数が増えたね……コラッ返事せんか馬鹿野郎ッ同窓生のクセに……ムニャムニャ何じゃとシワじゃとシワの数は多いほどよく伸びるんだぞ提灯（ちょうちん）を見よ提灯をムニャムニャ……

参考資料

平成 8 年度畜産物価格決定の概要

○牛肉関係

・牛肉	安定上位価格	1,070円/kg (対前年度▲2.7%)
	安定基準価格	820円/kg (対前年度▲2.4%)

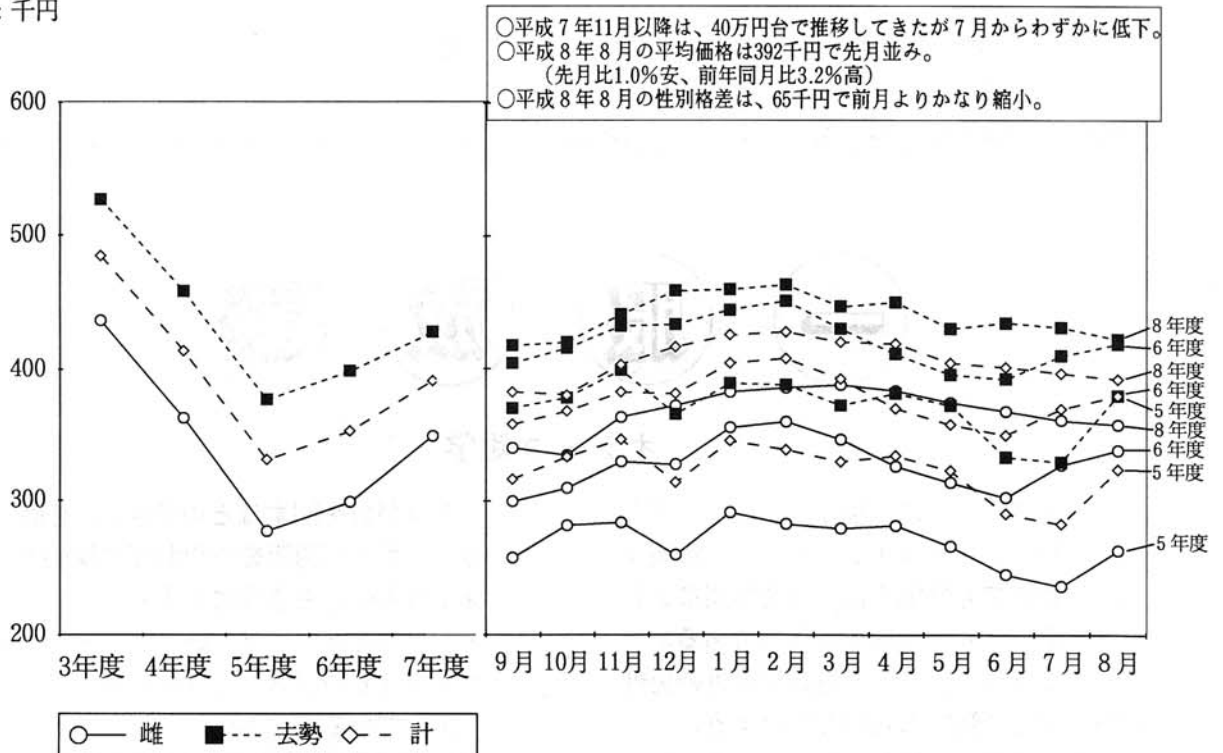
○肉用子牛関係

・黒毛和種	304,000円/頭 (前年度同額)	267,000円/頭 (前年度同額)
・褐毛和種	280,000円/頭 (前年度同額)	246,000円/頭 (前年度同額)
・その他肉専用種	203,000円/頭 (対前年度▲0.5%)	150,000円/頭 (対前年度▲2.0%)
・肉専用種以外の品種	156,000円/頭 (対前年度▲0.6%)	111,000円/頭 (対前年度▲2.6%)

価格情勢

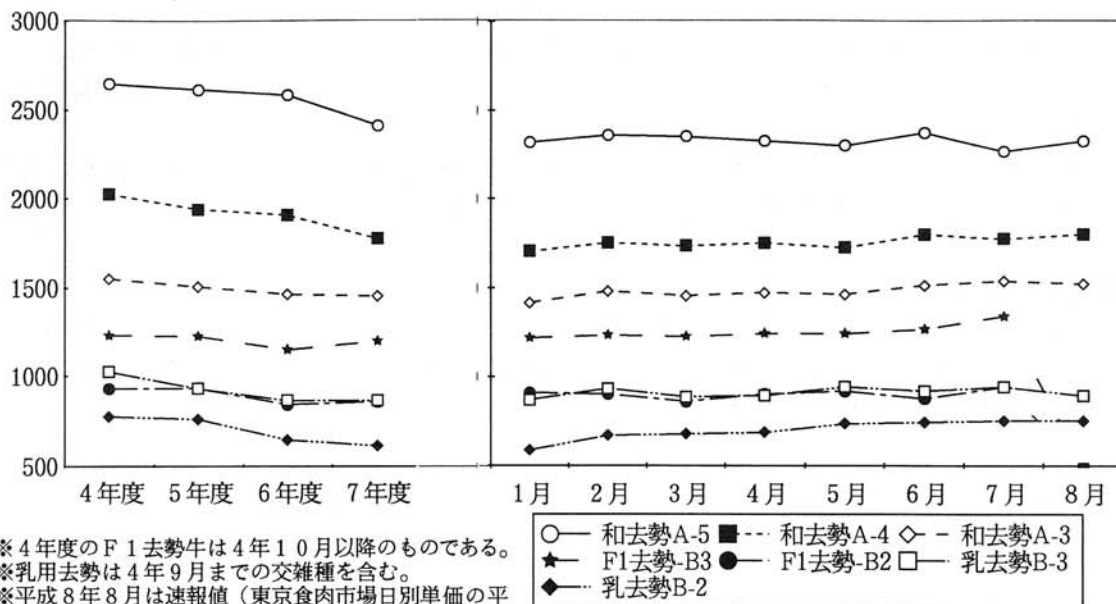
肉用子牛価格の推移 (宮崎県：和牛)

単位：千円



注) 価格は、売却、保留合計の消費税込み価格。

品種別規格別牛枝肉卸売価格の推移（東京）



※4年度のF1去勢牛は4年10月以降のものである。
 ※乳用去勢は4年9月までの交雑種を含む。
 ※平成8年8月は速報値（東京食肉市場日別単価の平均）でF1は示さず。
 ※資料：農水省「食肉流通統計」の年報、月報
 ※消費税込みの価格

肉用子牛生産者補給金制度

平成8年度保証基準価格及び合理化目標価格

区 分	黒毛和種	褐毛和種	その他の肉専用種	乳用種等
保証基準価格	304,000円	280,000円	204,000円	157,000円
合理化目標価格	267,000円	246,000円	153,000円	114,000円

平均売買価格

区 分	黒毛和種	褐毛和種	その他の肉専用種	乳用種等	
5年度	第1四半期	311,400円	193,100円	99,300円	98,400円
	第2四半期	313,000円	211,300円	132,800円	97,800円
	第3四半期	319,700円	220,300円	92,800円	98,400円
	第4四半期	319,900円	213,400円	89,600円	91,500円
6年度	第1四半期	288,100円	223,100円	116,800円	74,800円
	第2四半期	303,000円	236,000円	128,500円	62,600円
	第3四半期	347,800円	259,500円	95,000円	67,800円
	第4四半期	357,100円	257,600円	108,100円	71,100円
7年度	第1四半期	328,300円	258,300円	97,300円	97,800円
	第2四半期	357,700円	284,100円	124,300円	98,300円
	第3四半期	382,700円	290,400円	147,000円	124,500円
	第4四半期	387,100円	287,600円	147,800円	134,400円
8割	第1四半期	369,400円	298,400円	131,100円	138,600円

生産者補給金交付額

(単位：頭、千円)

区 分	黒毛和種		褐毛和種		その他の肉専		乳用種等		合 計	
	頭数	金額	頭数	金額	頭数	金額	頭数	金額	頭数	金額
平成6年度	39,706	349,045	26	829			21,681	1,890,186	61,413	2,240,123
平成7年度	0	0	6	130	0	0	16,209	701,889	16,215	702,019
平成8年度	0	0	0	0	0	0	3,490	60,726	3,490	60,726
合 計	39,706	349,045	32	1022	0	0	41,380	2,652,801	81,118	3,002,868

平均売買価格

- 「黒毛和種」については、平成5年度以前から低下傾向にあった。6年度第1、2四半期に保証基準価格を下回ったが、第3四半期以降は保証基準価格を上回る水準となっている。
- 「褐毛和種」についても、6年度第3四半期以降合理化目標価格を上回る水準に回復し、7年度第2四半期以降は、保証基準価格を上回る水準となっている。
- 乳用種等については、5年度以前から合理化目標価格を下回って推移してきたが、7年度第3四半期以降は合理化目標価格を上回る水準に回復している。

補給金交付状況

- 補給金交付額は、増し平成7年度までの累計で54億円をこえるものとなっている。うち、9割以上が乳用種等に交付されており、7年度以降については、子牛価格の上昇等により、補給金交付額は減少傾向にある。

子牛生産拡大奨励事業

事業の実施状況（発動状況）

年 度	5年度				6年度				7年度				8年度
	第1	第2	第3	第4	第1	第2	第3	第4	第1	第2	第3	第4	第1
拡大黒毛	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
奨励金褐毛	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
生産黒毛	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
奨励金褐毛	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

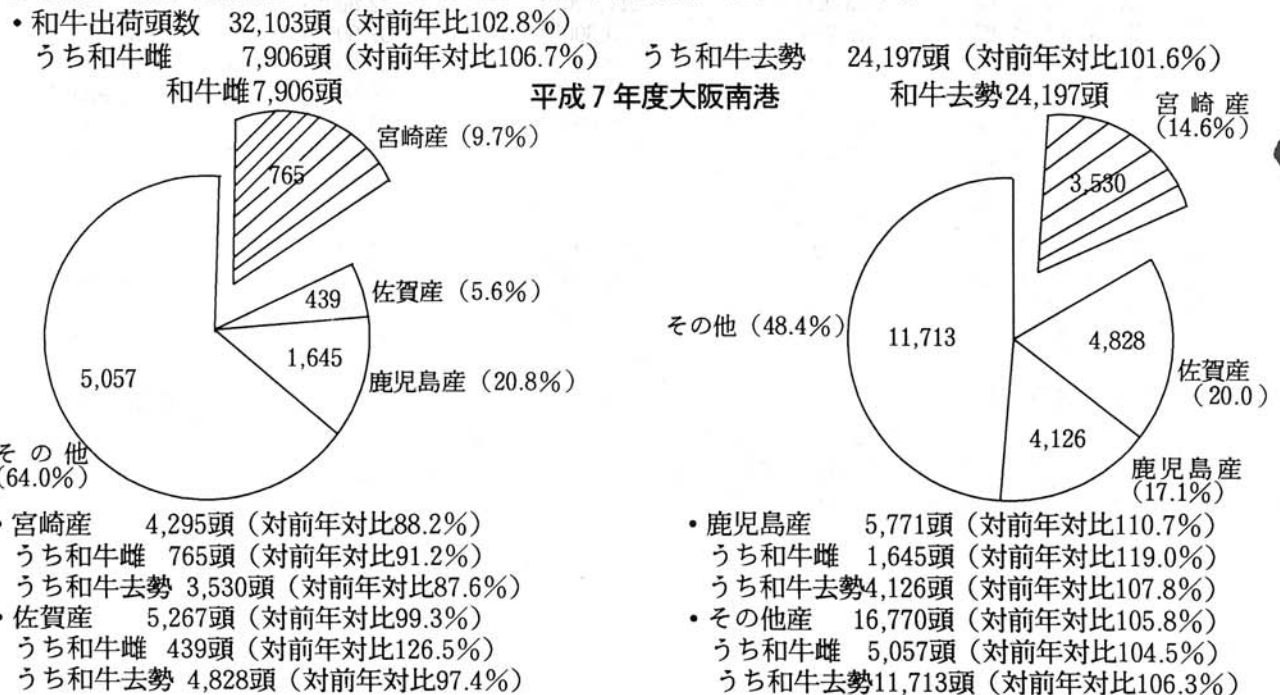
本県の交付実績

年 度	交付頭数(頭)	交付金額(千円)
5年度	60,124	1,340,388
	(拡大 25,820 生産 34,304)	(722,936 617,452)
6年度	53,691	1,620,051
	(拡大 20,481 生産 33,210)	(730,743 889,308)
7年度	15,389	382,793
	(拡大 5,563 生産 9,826)	(116,875 216,118)
8年度	3	75
	(拡大 3 生産 3)	(42)

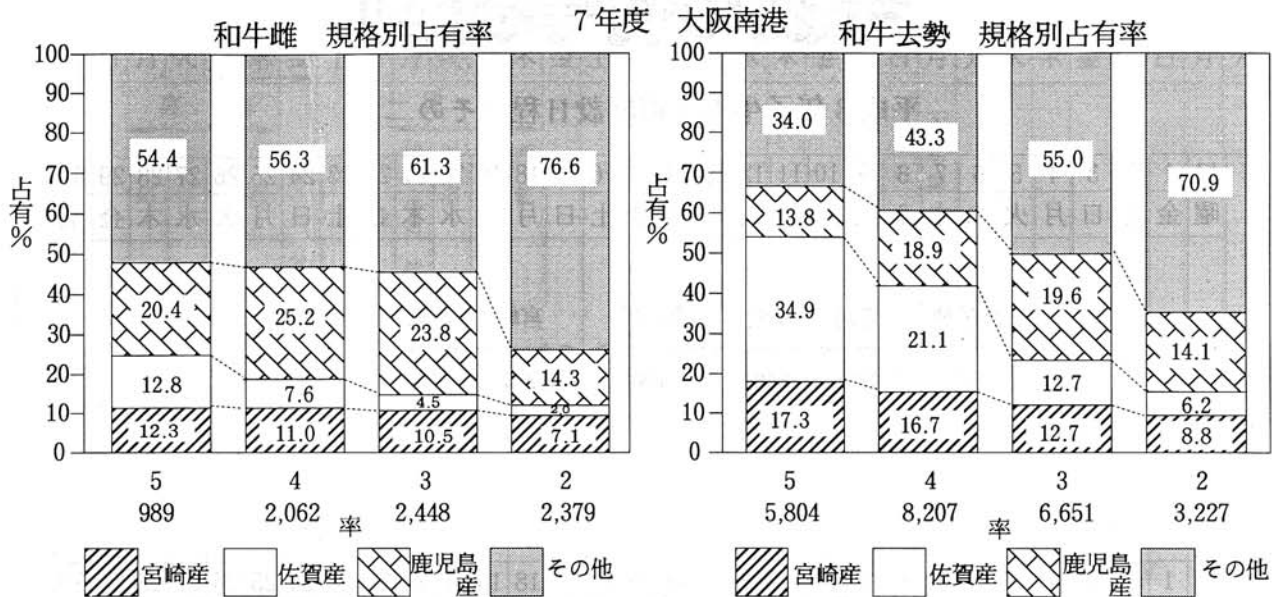
※平成8年度は第1四半期まで

消費地情報

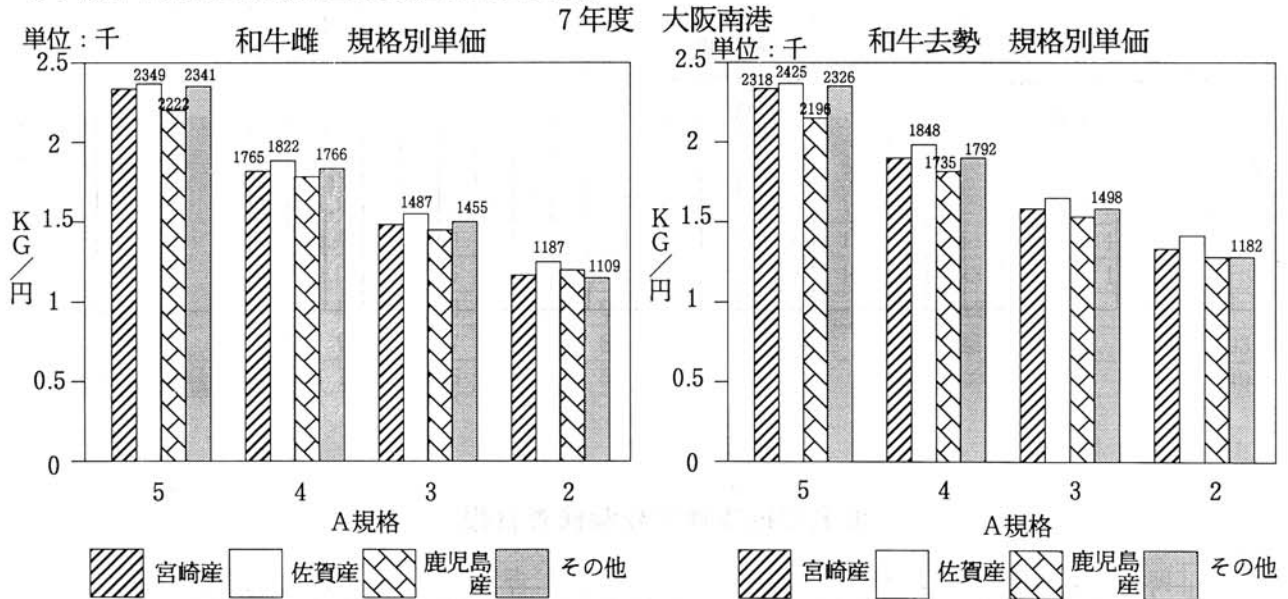
●平成7年度大阪南港における和牛主要3県の出荷頭数は図1のとおり。



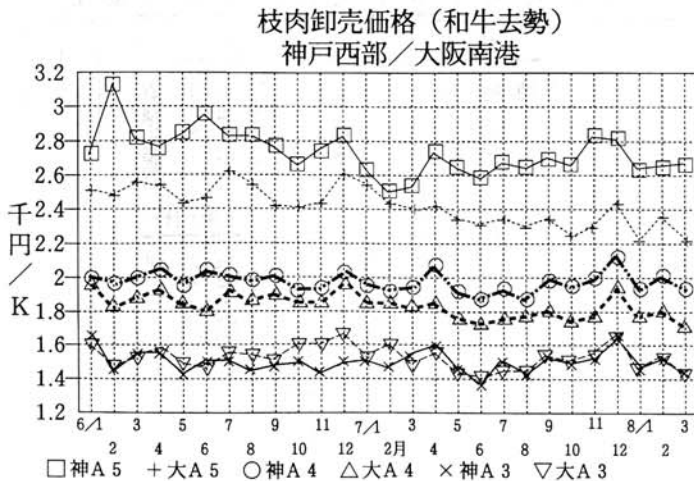
●平成 7 年度大阪南港市場産地別規格占有率は図 2 のとおり。



●平成 7 年度産地別枝肉単価は図 3 のとおり。



●主要市場での枝肉卸売価格の推移は図 4 のとおり。



- 平成 7 年度 A 5、A 4 は下落するが、A 3 は堅調に推移。
- 平成 8 年度明けから狂牛病の余波にて、国産牛 A 3、A 2、ホルスが右上がりにシフト。
- 景気回復の兆しから、本年度は一昨年程度の相場展開を予想。

今後の行事計画

平成 8 年子牛セリ市開設日程 (その二)

	日	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	
	曜	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	
十一月 行事							高千穂		児湯		串間		都城		宮崎		延岡															
							↔ 900		↔ 1,400		↔ 900		↔ 1,700		↔ 1,200		↔ 900															
十二月 行事	日	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
	曜	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火
十二月 行事																																
				小林									都城																			
			↔ 1,700									↔ 1,800																				

黒毛和種成雌牛登録検査日程

	日	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	
	曜	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	
十一月 行事																																
				文化の日	振替休日	須木	西	高原	西小林	諸	えびの市	野尻	小林							都	祝吉・沖水・西岳	那珂	勤労感謝の日			城	高崎	直検牛脂質				
							東白	北浦・北川・北方	延岡・門川・白向											姫城・五十市・庄内	梅北・安久・三股	南郷・日南				高城・山之口	志和池・山田	東白	北郷・西郷	椎葉・諸塚		

日	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31		
	曜	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	
十二月	行	宮崎				児湯																											
		宮崎	佐土原	清武	田野	尾鈴・寺迫	児湯	西都																									
月	事	高千穂																															
		高千穂五ヶ瀬	田原・上野	日之影・岩戸																													
		天皇誕生日																							御用納め								

価格情勢の数値

(単位：千円)

	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
雌	436	362	277	299	348	339	334	363	372	382	385	387	383	374	367	361	357
去勢	527	458	377	398	428	417	420	441	458	460	463	446	449	430	434	431	422
計	485	413	330	352	390	382	379	403	416	425	427	419	418	404	401	396	392

	4年度	5年度	6年度	7年度	8年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
和去勢A-5	2,643	2,612	2,576	2,407	2,314	2,360	2,345	2,321	2,301	2,369	2,267	2,322
和去勢A-4	2,024	1,937	1,899	1,772	1,699	1,746	1,731	1,746	1,729	1,796	1,776	1,797
和去勢A-3	1,547	1,498	1,460	1,453	1,415	1,478	1,458	1,475	1,461	1,514	1,538	1,524
F1去勢-B3	1,234	1,221	1,146	1,196	1,221	1,232	1,226	1,244	1,243	1,270	1,339	
F1去勢-B2	932	933	839	853	904	896	855	899	912	871	940	
乳去勢B-3	1,029	926	867	866	865	934	883	889	941	915	936	893
乳去勢B-2	772	756	645	613	587	669	673	684	734	739	751	749

受精卵供給事業の概要（移植実績）

(平成 8 年 3 月末現在)

年/月	宮崎家保管内				都城家保管内				延岡家保管内				県全体			
	移植頭数	受胎頭数	不明頭数	受胎率(%)	移植頭数	受胎頭数	不明頭数	受胎率(%)	移植頭数	受胎頭数	不明頭数	受胎率(%)	移植頭数	受胎頭数	不明頭数	受胎率(%)
2年度	56	16	0	28.6	96	41	0	42.7	7	0	0	0.0	159	57	0	35.8
3年度	183	99	0	54.1	592	289	0	48.8	17	5	0	29.4	792	393	0	49.6
4年度	183	93	0	50.8	483	227	0	47.0	15	8	0	53.3	681	328	0	48.2
5年度	157	85	0	54.1	411	192	0	46.7	24	11	0	45.8	592	288	0	48.6
6年度	207	104	0	50.2	392	209	0	53.3	21	5	0	23.8	620	318	0	51.3
7年度	292	125	56	53.0	416	161	134	57.1	28	9	8	45.0	736	295	198	54.8
計	1,078	522	56	51.1	2,390	1,119	134	49.6	112	38	8	36.5	3,580	1,679	198	49.6

(注) 受胎率=受胎頭数/(移植頭数-不明頭数)×100

共 進 会 風 景



グランドチャンピオンに輝いた「隆男」の枝肉



グランドチャンピオン受賞者吹上忠義さんのあいさつ



ふれあいミニ牧場



ふれあい広場 (チャレンジコーナー)



新飼料作物 (牧草) の実物展示



肉用牛枝肉褒賞授与式

肉用牛生産技術向上促進事業
社団法人全国肉用牛協会委託

発行所
0985124167
社団法人 宮崎県肉用牛協会